

MY COOL CHOICE CHALLENGE

インタビュートーク

私の賢い選択

VOL.4

PERSON

くりはら しょうた
栗原 奨太 選手

前橋市出身。
Bリーグバスケットボールチーム、
群馬クレインサンダーズ所属。

無意識のエコ意識

環境問題やエコって、一体いつから自分で意識していたのか、すぐには思い出せないんです。

それくらい、ぼくたちの世代は小さい頃から、学校や家庭で、環境について学んだり、考えたりする機会がたくさんありました。『地球温暖化』という言葉も、その原因も、ぼくが小さい頃から何度も聞いたことがあります。

人によってそれぞれのきっかけはあると思いますが、環境に対する意識って、自然と身につくものでもあると思います。

特に、小さい頃から環境学習の機会があった世代は、どんな行動が環境にやさしいのか、意識せずとも理解してい

る部分があると思うんです。

こまめな賢い選択

生活の中では、シャワーを出しっぱなしにせず、こまめにお湯を止めるなど、水の使いすぎや、エアコンの使いすぎに気をつけています。特にぼくは、空調が効きすぎた部屋があまり好きではないので、エアコンの使用はいつも控えめです。バスケの試合は、エアコン付きの体育館で行うことがほとんどですが、そこでも寒いと感じることがあります。

夏は、扇風機を使って過ごしたり、朝晩が冷える季節でも、着るものや布団の厚さで調節したりしています。夏は暑く、冬は寒い群馬ですが、

工夫次第で快適に過ごせると思います。

環境のためにこれから心がけてみたいことは、買い物の際にレジ袋を貰わないようにしたり、車を使わずに自転車で出かけてみたりすることです。自転車でもどこまで遠くに行けるのか、チャレンジしてみたいですね。

次世代のための選択

悲しいことだけれど、平気で道端にごみを捨てる人がいますよね。もしもぼくがその現場を見ていたら注意したくなります。

どんな問題にしても、『自

分さえよければいい』という人はいます。でも、自分の世代には関係ないとは言っても、自分の子どもたちの世代は、と考えると、全く関係が無いなんて言い切れないと思うんです。

ぼくたちはチームの活動の一環として、子どもたちにバスケを教えています。子どもたちって、上手にできなくてもすごく楽しそうにバスケをするんです。そういう面は、今のぼくがちよっと忘れている部分だなあと感じています。

やはり、こういった次世代との関わりは、とても大切なものだと思います。

ぼくは8歳の頃にバスケを始めましたが、ちょうどその年代の子と接することが多いので、自分が純粋にバスケをしていた頃を思い出します。

このバスケット教室には、幼稚園に通っているくらい小さな子どもたちも参加しています。小さな子どもたちでも、練習を重ねることで、ドリブルやパスがだんだん出来るようになってくるんです。子どもたちの上達を実感すると、教えている側としても本当に嬉しいですよ。

✿ チームプレーの大切さ

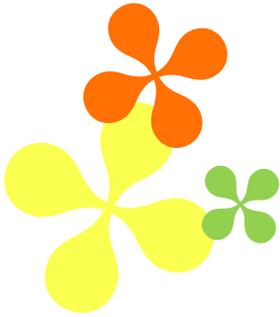
バスケットボールはチーム競技です。チームプレーだからこそ、練習も試合もよい雰囲気を取り組めるよう、日々心がけています。

チームのルールを守ったり、みんなが自主練習に打ちこんだり、試合をより良くするための努力は欠かせません。毎日の練習や、一回一回の試合を大切にしています。

そして何よりも、バスケットボールはお客さんの声援があつてこそそのスポーツです。バスケットをあまり知らない人も、初めて試合を観るといふ人、一度でもいいので私たちの試合を観に来てくれたら、と思います。

一度観たら、きつとその次も観たくなりますよ！

作成 前橋市環境政策課
取材 平成29年11月1日



クールチョイス
COOL CHOICEは、
環境にやさしい省エネ型の製品や、サービス、暮らしの工夫など、
地球温暖化を防ぐあらゆる「賢い選択」をすすめる国民運動です。